

# でーかるBOOKS 2026



## でーかるBOOKSって?

でーかるBOOKSとは、岡山の高校司書によるおすすめ本コンテストです。図書館には多様なジャンルの本があることを知ってもらいたい!という願いから、小説以外の本を選考対象としています。岡山県高等学校図書館ネットワーク研究委員会が主催し、今回で13回目となります。でーかるBOOKS2026大賞本には、鳥に関するユニークな発見をした著者が、独自の研究を重ね、新しい学問を拓いていくストーリーが描かれています。著者の発見にも、その研究方法にも、わくわくすること間違いありません!

### 大賞



#### 『僕には鳥の言葉がわかる』

鈴木 俊貴  
小学館

#### 著者からのメッセージ

『僕には鳥の言葉がわかる』を大賞に選んでいただきありがとうございます。本書には、僕がシジュウカラという野鳥に出会い、かれらの言葉を解き明かすまでの研究の歩みをつづりました。人には人の言葉があるように、鳥には鳥の言葉がある。当たり前のように聞こえるかもしれません、そこには誰も知らない豊かな世界が広がっていました。読後はぜひ外に出て、耳を澄ましてみてください。きっとあなたにも鳥たちの会話が聞こえてくることでしょう。



### 2位



#### 『まだ何になるかわからない』

キボリノコンノ  
実務教育出版

### 3位



#### 『なんで人は青を作ったの? 青色の歴史を探る旅』

谷口 陽子, 高橋 香里  
クレメンス・メッツラー / 画  
新泉社



#### ノミネート作品



#### 『さみしい夜の ページをめくれ』

古賀 史健  
ならの / 絵  
ポプラ社



#### 『わたしはわたし。 あなたじゃない。 10代の心を守る境界線 「バウンダリー」の引き方』

鴻巣 麻里香  
リトルモア

